

2024年1月18日

各 位

マネックスグループ株式会社
代表執行役社長 CEO 清明 祐子
(コード番号 8698 東証プライム)

第31回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2023年12月調査」
～3地域の個人投資家とも世界の株式市場見通し DIは大幅に上昇～

本日、当社のグループ会社であるマネックス証券株式会社、TradeStation Securities, Inc.およびMonex Boom Securities (H.K.) Limited が、共同で下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

マネックス証券株式会社 プレスリリース (添付)

第31回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2023年12月調査」
～3地域の個人投資家とも世界の株式市場見通し DIは大幅に上昇～

(報道関係者様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-8698

(株主・投資家様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 仲野、小森 電話 03-4323-8698

MONEX Global Retail Investor Survey



December 2023

MONEX グローバル個人投資家サーベイ 第 31 回 2023 年 12 月調査

マネックス証券株式会社
www.monex.co.jp

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、マネックス証券でお取引をする個人投資家の皆様に 2023 年 12 月 13 日～12 月 21 日の期間でアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。
(当社ウェブサイトへの掲載日は、2024 年 1 月 18 日です。)

今回は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc. (米国) および Monex Boom Securities (H.K.) Limited (香港) の個人投資家の皆様にも同様のアンケートを行い、個人投資家の皆様の現在の相場観等を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」としてまとめました。グローバルな意識調査が資産運用の一助となれば幸いです。

「MONEX 個人投資家サーベイ」は 2009 年 10 月より、「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」は 2011 年 6 月より実施しております。

※ 調査について

- ・ MONEX グローバル個人投資家サーベイは、2011 年 6 月～2016 年 6 月までは原則四半期毎、2016 年 12 月より半年毎、2019 年より 1 年毎に調査しております。
- ・ 日本限定の個人投資家サーベイは、2009 年 10 月から 2016 年 4 月までは毎月、2016 年 6 月から 2016 年 12 月までは 2 ヶ月毎、2017 年 3 月から現在まで四半期毎に調査しております。

■調査結果の要約

1. グローバル調査結果 調査対象：日本、米国、中国（香港）の個人投資家

(1-1) 世界の株式市場見通し DI^(注) は三地域の個人投資家とも大幅に上昇

各地域の個人投資家に今後3か月程度の世界の株式市場に対する見通しをたずねたところ、日本、米国、中国（香港）の個人投資家いずれも前回調査（2022年12月実施）からDIが大きく上昇しました。特に米国の個人投資家の改善度合いが大きいことが確認されます。

注) DI (diffusion index)

「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

【世界の株式市場見通し DI】

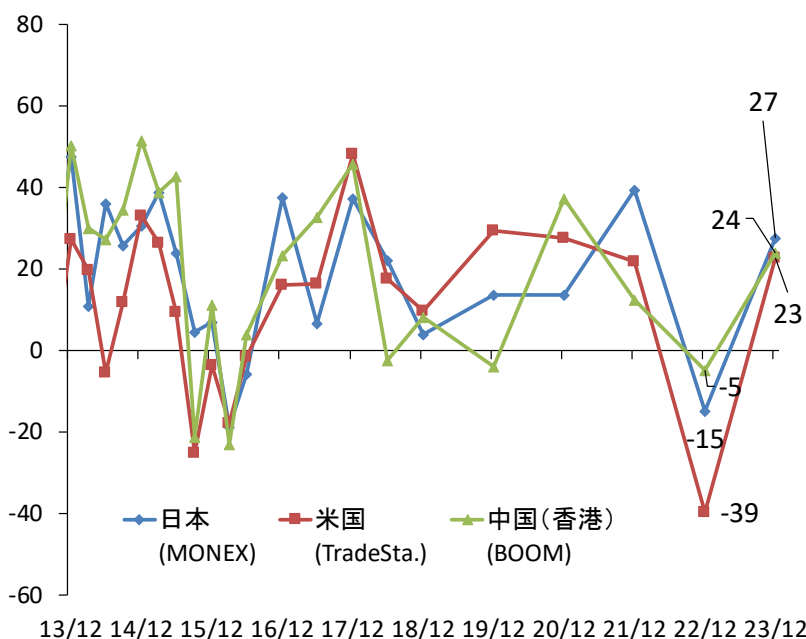
日本： (2022年12月) -15 → (2023年12月) 27 (前回比 +42ポイント)

米国： (2022年12月) -39 → (2023年12月) 23 (前回比 +62ポイント)

中国（香港）： (2022年12月) -5 → (2023年12月) 24 (前回比 +29ポイント)

グラフ1: 個人投資家の世界の株式市場に対する見通し(三地域のDI推移)

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

(1-2) 三地域の個人投資家すべてで米国への期待が最も高い割合に

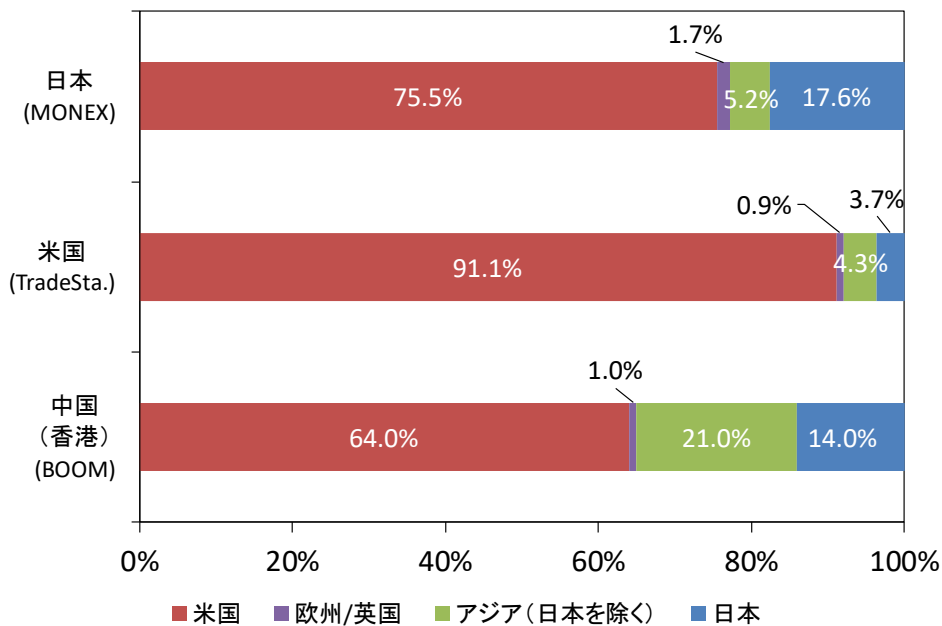
今後3か月で株価の上昇が最も期待できる地域についてたずねました。日本、米国、中国（香港）の個人投資家すべてで「米国」と回答した割合が最も高くなりました。特に米国個人投資家の米国への期待は91%超となっております。世界の投資家の米国への期待の高さが確認されました。

【今後3か月のマーケットへの期待度】

日本	米国：75.5%、欧州/英国：1.7%、アジア（日本を除く）：5.2%、日本：17.6%
米国	米国：91.1%、欧州/英国：0.9%、アジア（日本を除く）：4.3%、日本：3.7%
中国（香港）	米国：64.0%、欧州/英国：1.0%、アジア（日本を除く）：21.0%、日本：14.0%

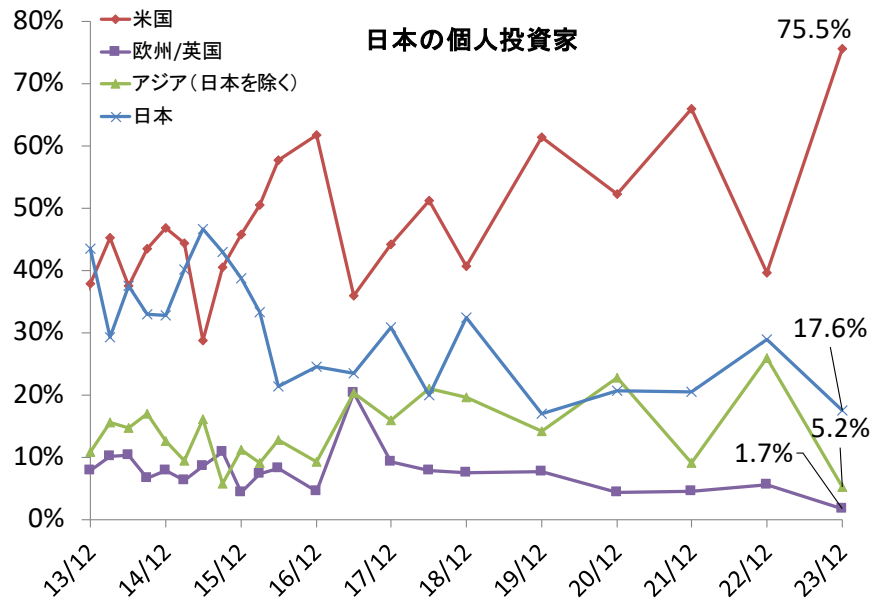
グラフ2-1: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(各地域の回答内訳)

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



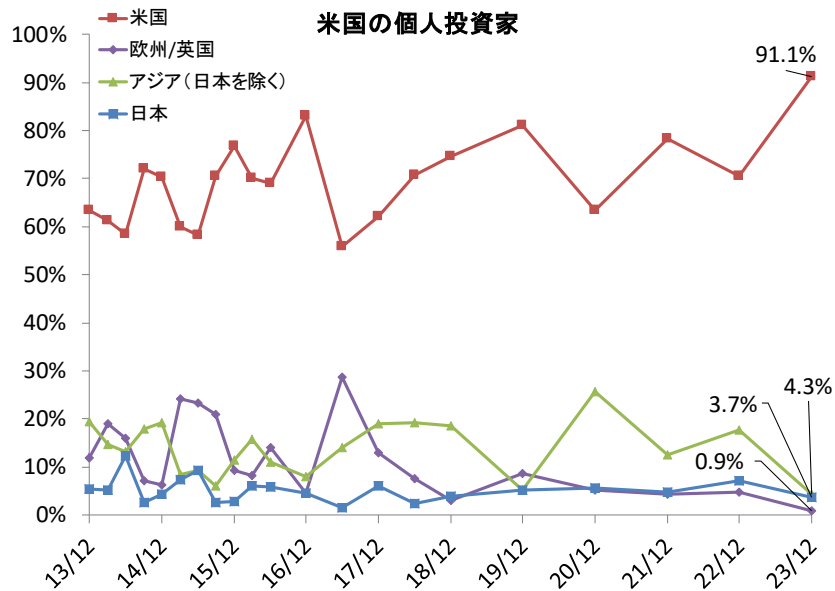
(出所)マネックス証券作成

グラフ2-2: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(回答推移)



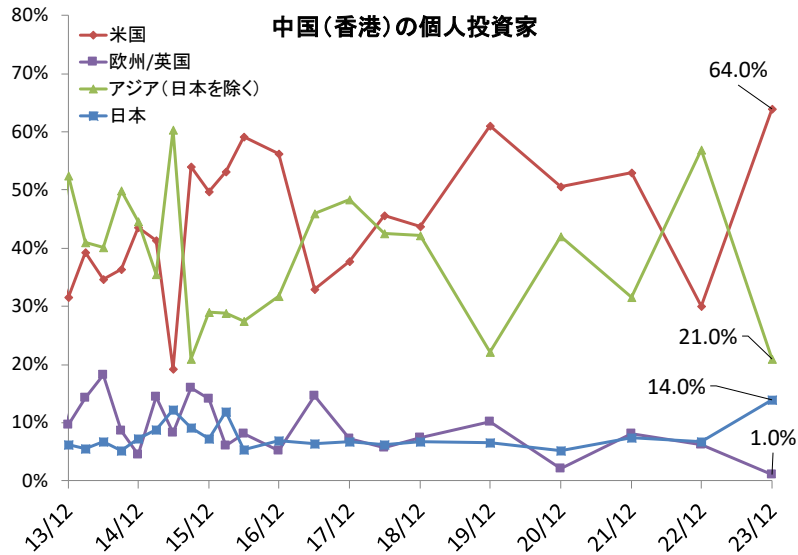
(出所)マネックス証券作成

グラフ2-3: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(回答推移)



(出所)マネックス証券作成

グラフ2-4: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(回答推移)



(出所)マネックス証券作成

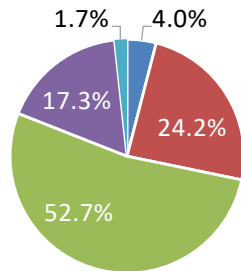
(1-3) 2024年の米国マーケット予想、日本と米国は36,000ドル以上40,000ドル未満が最も高い割合に

三地域の個人投資家に2024年のダウ平均株価の高値予想、安値予想をたずねました。2024年の高値予想について日本、米国の投資家は、「36,000ドル以上40,000ドル未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。一方で中国(香港)の投資家は「32,000ドル以上36,000ドル未満」と回答した割合が最も高くなっています。安値予想については日本、中国(香港)の投資家が「27,000ドル以上31,000ドル未満」と回答した割合が最も高い一方、米国の投資家は「31,000ドル以上35,000ドル未満」と回答した割合が最も高くなっています。

(【参考】2024年1月12日のダウ平均株価終値：37,592.98ドル)

【日本の個人投資家】

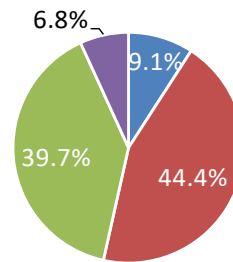
グラフ3-1: 2024年ダウ平均株価高値予想



- 32,000ドル未満
- 32,000ドル以上36,000ドル未満
- 36,000ドル以上40,000ドル未満
- 40,000ドル以上44,000ドル未満
- 44,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ3-2: 2024年ダウ平均株価安値予想

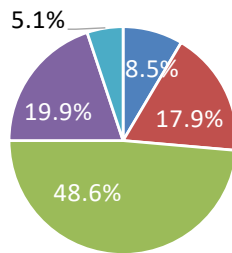


- 27,000ドル未満
- 27,000ドル以上31,000ドル未満
- 31,000ドル以上35,000ドル未満
- 35,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

【米国の個人投資家】

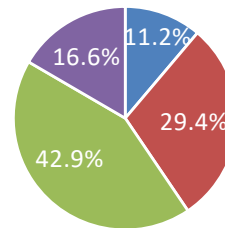
グラフ3-3: 2024年ダウ平均株価高値予想



- 32,000ドル未満
- 32,000ドル以上36,000ドル未満
- 36,000ドル以上40,000ドル未満
- 40,000ドル以上44,000ドル未満
- 44,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ3-4: 2024年ダウ平均株価安値予想

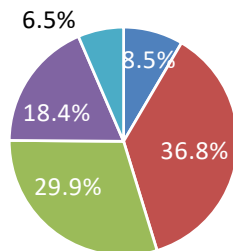


- 27,000ドル未満
- 27,000ドル以上31,000ドル未満
- 31,000ドル以上35,000ドル未満
- 35,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

【中国（香港）の個人投資家】

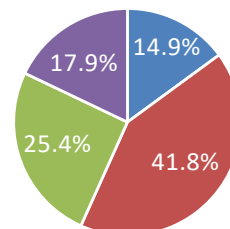
グラフ3-5: 2024年ダウ平均株価高値予想



- 32,000ドル未満
- 32,000ドル以上36,000ドル未満
- 36,000ドル以上40,000ドル未満
- 40,000ドル以上44,000ドル未満
- 44,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ3-6: 2024年ダウ平均株価安値予想



- 27,000ドル未満
- 27,000ドル以上31,000ドル未満
- 31,000ドル以上35,000ドル未満
- 35,000ドル以上

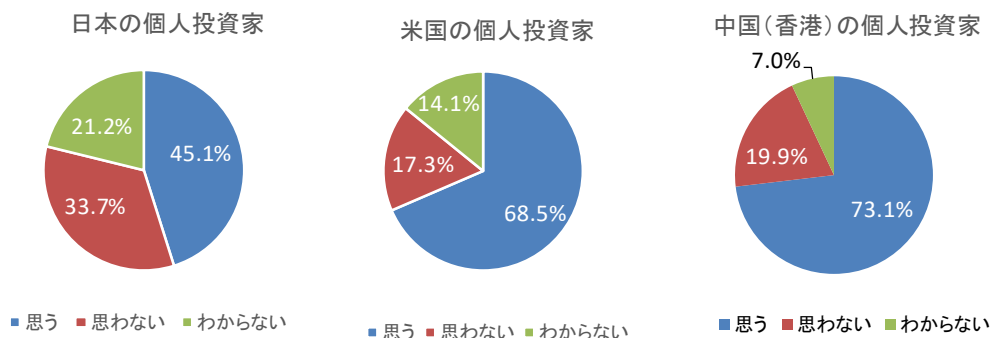
(出所)マネックス証券作成

(1-4) リスク回避の必要性に日本の投資家は楽観的

三地域の個人投資家に現在のマーケットの状況はリスク回避をある程度行う必要があると思うかをたずねました。

米国、中国（香港）の個人投資家はリスク回避の必要性が「ある」との見方が7割程度ある一方、日本の個人投資家は5割を下回っています。

グラフ4-1: リスク回避の必要性があると思いますか



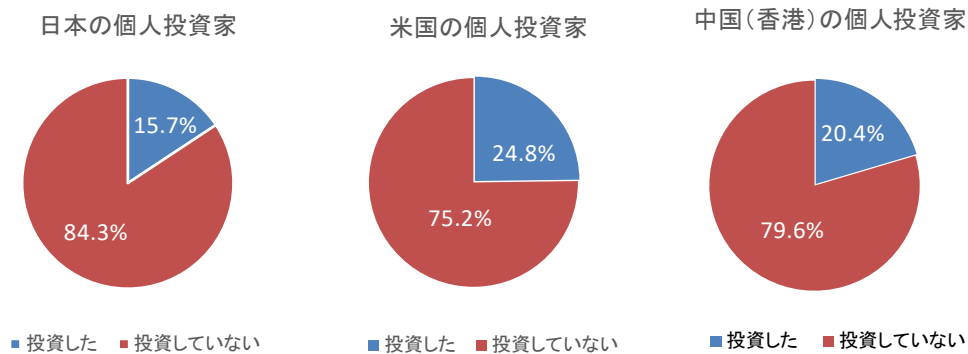
(出所)マネックス証券作成

(1-5) リスク回避としての米国債投資に日本は消極的

三地域の個人投資家に金利上昇を受けてリスク回避として2023年中に米国債に投資をしたかをたずねました。

三地域とも「投資していない」が大勢を占めていますが、なかでも日本の個人投資家は投資していない割合が最も高くなっています。

グラフ5-1: 2023年中に米国債に投資をしましたか

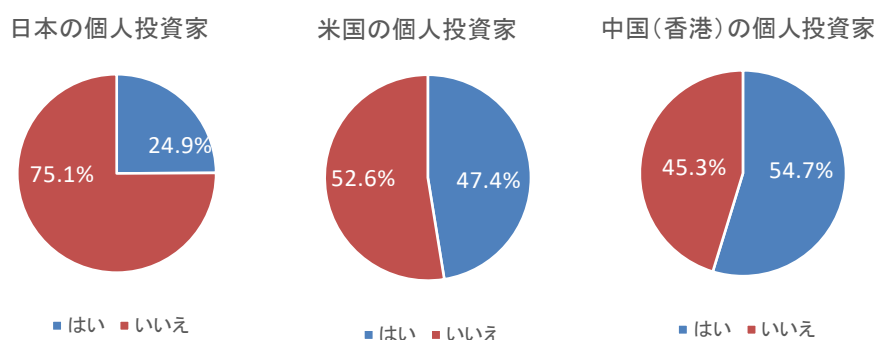


(出所)マネックス証券作成

(1-6) 2023 年中のリスク回避行動 米国・中国はほぼ半数で実施

三地域の個人投資家に、2023 年中に株式に連動する商品以外への投資などといったリスク回避行動をとったかをたずねました。日本の個人投資家は 75% がリスク回避行動をとっていませんが、米国では半分近く、中国（香港）では過半数がリスク回避行動をとっているとの結果です。

グラフ6-1: 2023年中にリスク回避行動をとりましたか



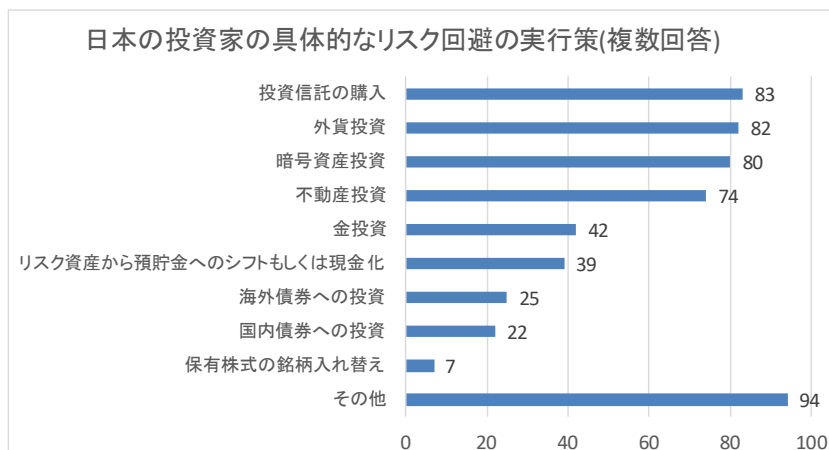
(出所)マネックス証券作成

(1-7) 三地域の個人投資家の具体的なリスク回避策

2023 年中にリスク回避行動をとったと回答した三地域の個人投資家に具体的なリスク回避策をたずねました。日本の個人投資家のリスク回避行動では、投資信託の購入が最も多いものの「その他」も多く、投資行動が様々な印象です。一方で米国、中国（香港）の個人投資家は預貯金・現金へのシフトや金投資、債券投資など一般的なリスク回避行動が見られています。

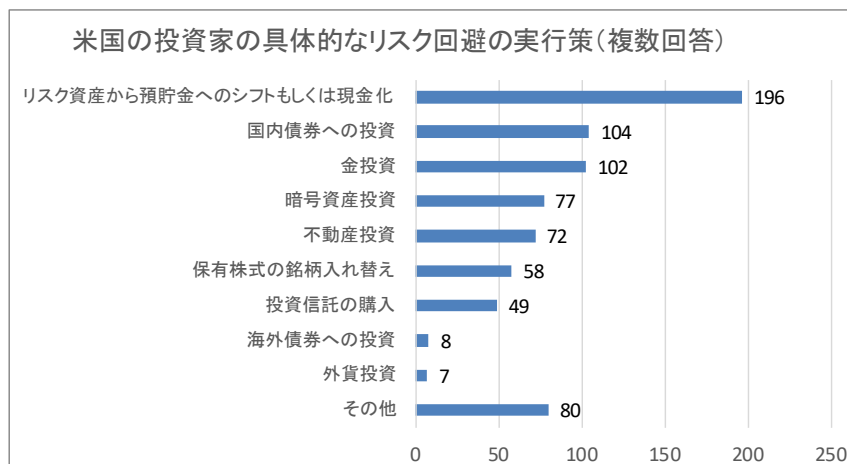
「その他」の回答には日本の個人投資家は「iDeCo 加入」、「オプション」、「外貨預金/外貨 MMF への移管」、「為替ヘッジの設定変更」など、中国（香港）の個人投資家は「投資貨幣基金」、「国内債券 ETF」など、米国の個人投資家は「先物・オプション」、「ETF」、「MMF」、「取引をしない」などが見られました。

グラフ7-1: 2023年中にリスク回避行動をとりましたか【日本の個人投資家】



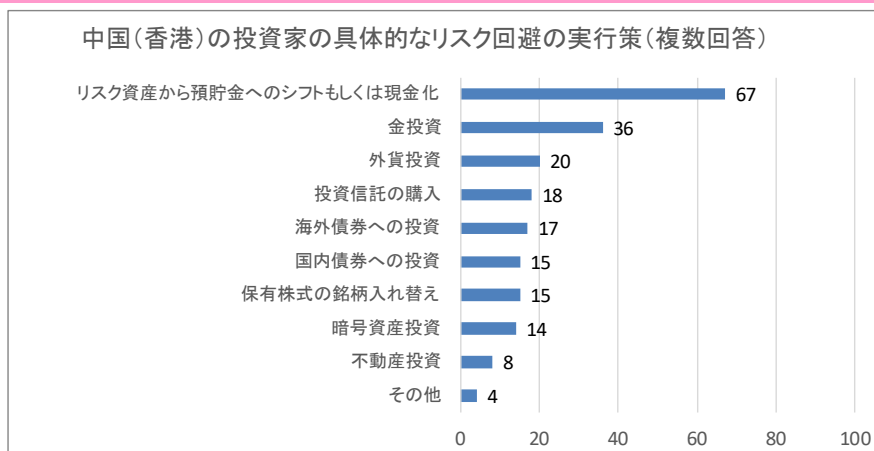
(出所)マネックス証券作成

グラフ7-2: 2023年中にリスク回避行動をとりましたか【米国の個人投資家】



(出所)マネックス証券作成

グラフ7-3: 2023年中にリスク回避行動をとりましたか【中国(香港)の個人投資家】



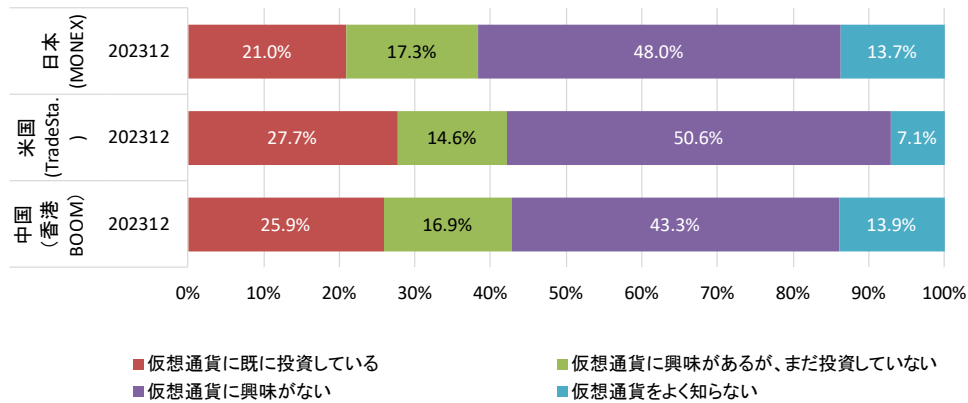
(出所)マネックス証券作成

(1-8) 暗号資産投資への関心はまだ低い

「暗号資産」への投資経験や意欲について調査を行いました。既に暗号資産に投資している個人投資家の割合は日本が 21.0%、米国が 27.7%、中国（香港）が 25.9%となりました。「興味が無い」、「よく知らない」という割合も多くまだ投資対象としての関心は低い印象です。

グラフ8:暗号資産(仮想通貨)への投資について

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

2. 日本限定の調査結果 (四半期に1回) 調査対象: 日本の個人投資家

(2-1) 日本株 DI のみ低下

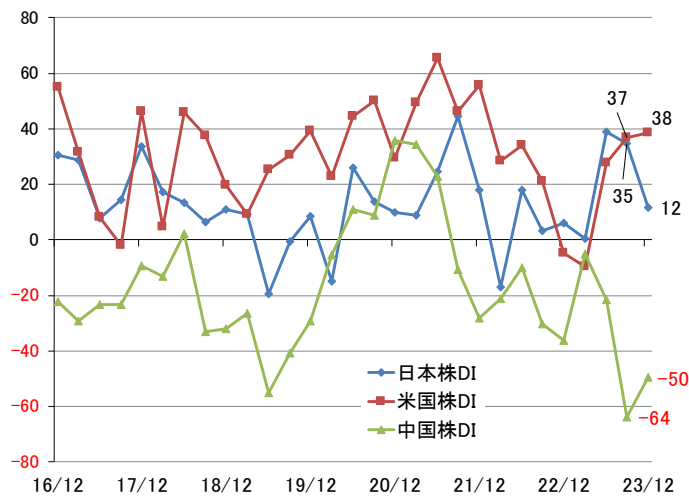
日本の個人投資家の今後3か月程度の各国（日本、米国、中国）株価の見通しは、日本株 DI のみ前回調査から 23 ポイント低下し、米国株 DI と中国株 DI は上昇しました。

【日本株 DI】(2023年9月) 35 → (2023年12月) 12 (前回比 -23 ポイント)

【米国株 DI】(2023年9月) 37 → (2023年12月) 38 (前回比 +1 ポイント)

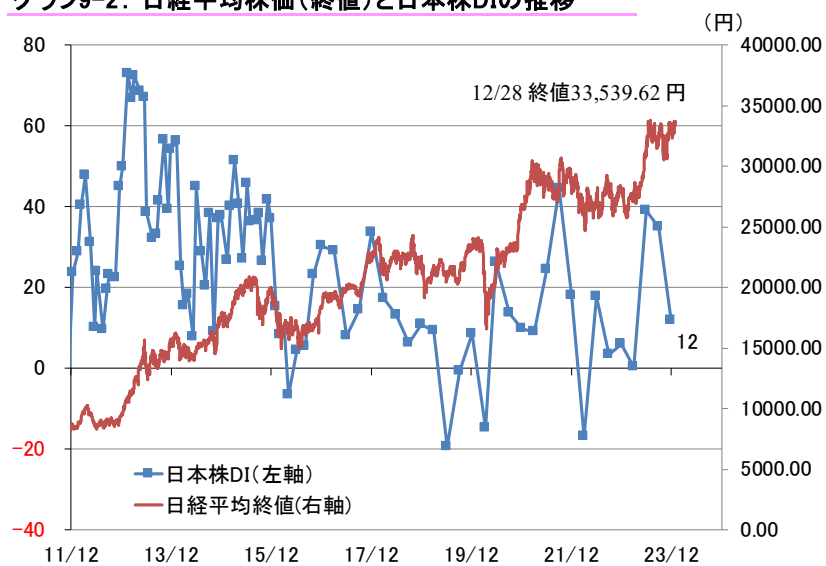
【中国株 DI】(2023年9月) -64 → (2023年12月) -50 (前回比 +14 ポイント)

グラフ9-1: 今後3か月程度の株価予想



(出所)マネックス証券作成

グラフ9-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



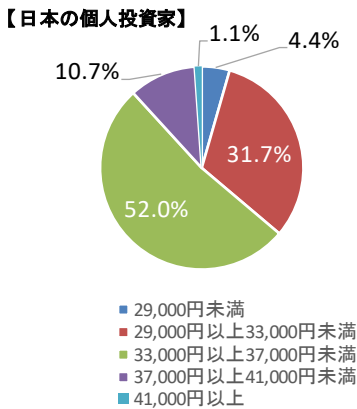
(出所) マネックス証券作成

(2-2) 日経平均株価の高値予想は 33,000 円以上 37,000 円未満が 52.0%と最多

日経平均株価の 2024 年の高値および安値の予想をたずねました。日経平均株価の高値予想は「33,000 円以上 37,000 円未満」が 52.0%と最も多くなりました。安値予想は「26,000 円以上 29,000 円未満」が 40.7%と最も多くなっています。

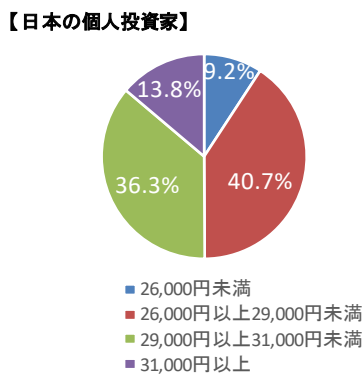
【参考】2024 年 1 月 12 日の日経平均株価終値：35,577.11 円)

グラフ10-1: 2024年日経平均株価高値予想



(出所)マネックス証券作成

グラフ10-2: 2024年日経平均株価安値予想



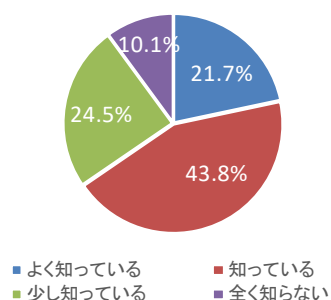
(出所)マネックス証券作成

(2-3) バフェット氏の日本株投資のニュースは高い認知度

米国パークシャー・ハサウェイのウォーレン・バフェット氏が 2020 年夏以降、日本の商社株等に積極投資をしていることが話題になりました。バフェット氏の日本株投資についての関心度を調査しました。全く知らない割合が 10%に留まっており、認知度は高いようです。また 6 割近くがニュースによって投資意欲が高まっており、アナウンスメント効果は相応に大きかったと思われます。一方で、その投資手法を参考にする投資家は 3 割程度にとどまっています。

グラフ11-1: パフェット氏の日本株投資のニュースをご存じでしたか

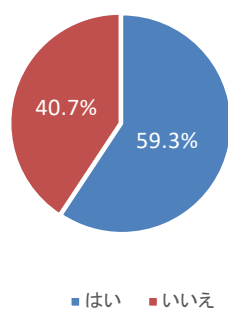
【日本の個人投資家】



(出所)マネックス証券作成

グラフ11-2: ニュースを知って日本株への投資意欲が高まりましたか

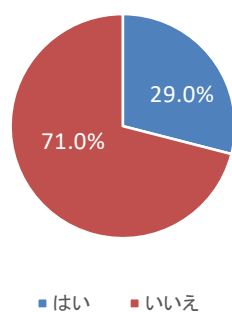
【日本の個人投資家】



(出所)マネックス証券作成

グラフ11-3: パークシャー・ハサウェイの投資を参考にしているか

【日本の個人投資家】



(出所)マネックス証券作成

総括（マネックス証券 インvestment・ストラテジーズ 塚本 憲弘）

「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」、第31回の結果をお届けします。

2023年の株式市場は非常に堅調な1年となりました。日経平均株価は年間でプラス28%、ダウ平均株価はプラス14%となり、特に日本株は2013年来の高パフォーマンスでした。なお、東証グロース市場250指数（旧マザーズ指数）はマイナス3%、ナスダック総合指数はプラス43%でした。

2023年は日本を除く主要国で金融引き締めが進みました。3月には欧米で金融不安が巻き起こり、また地政学リスクも継続する一方で、米国では旺盛な消費によって堅調な経済成長が示され、利上げ局面の終了とともに景気のソフトランディング期待の高まりが株価を押し上げました。また日本株も3月末に東京証券取引所が資本効率向上を要請してから4-6月に大きく上昇しました。本アンケートでも触れたウォーレン・バフェット氏の日本株投資が話題になったのもこの頃です。

2024年は選挙イヤーとも言われ各国で選挙が行われる中で、リスク資産を取り巻くマクロ経済環境が一段と重要な年となるでしょう。少しでも個人投資家の皆様のお役に立てるよう来年も当社のアナリスト陣を中心として全社一丸となり情報発信に努めてまいります。

今回も皆様方のご協力で、大変貴重なデータを作成・分析することができました。本当にありがとうございました。今回のサーベイが個人投資家の皆様方の投資判断の一助となれば幸いです。

（2024年1月3日執筆）

■調査の概要と回答者の属性

(日本)

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券で取引をする個人投資家
 回答数： 1,172 件
 調査期間： 2023 年 12 月 14 日～12 月 18 日

【性別】

男性	女性	回答しない
80.1%	18.1%	1.8%

【年齢】

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
0.0%	1.8%	9.0%	21.4%	33.4%	23.4%	8.8%	2.3%

【金融資産】

500万未満	500万～1000万	1000万超～2000万	2000万超～5000万	5000万超～1億	1億超
17.8%	15.3%	18.3%	27.6%	12.8%	8.3%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
4.0%	12.7%	32.8%	27.8%	22.6%

【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年超
5.2%	17.3%	21.4%	56.1%

(米国)

調査方式： インターネット調査
 調査対象： TradeStation Securities, Inc. で取引をする個人投資家
 回答数： 940 件
 調査期間： 2023 年 12 月 13 日～12 月 21 日

(中国 (香港))

調査方式： インターネット調査
 調査対象： Monex Boom Securities (H.K.) Limited で取引をする個人投資家
 回答数： 201 件
 調査期間： 2023 年 12 月 14 日～12 月 18 日

本情報はグループ各社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・本情報は売買のタイミングなどを反映したのではなく、また示唆するものではありません。
- ・当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本サーベイは、グループ各社において実施したアンケートの集計結果をまとめたものでありグループ会社間において個人情報の授受は行っておりません。
- ・グラフの数値について小数点以下の計算により、合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

2024年1月18日

関係各位

マネックス証券株式会社
TradeStation Securities, Inc.
Monex Boom Securities (H.K.) Limited

第31回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2023年12月調査」

～世界の株式市場見通し DI は三地域の個人投資家とも大幅に上昇～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、取締役社長執行役員：清明祐子）は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc.（本社：米国フロリダ州、Peter Korotkiy、President）および Monex Boom Securities (H.K.) Limited（本社：中国（香港）、Ivan Law、COO）の3社共同で2023年12月13日から12月21日の間に第31回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」を実施しました。

2023年の株式市場は非常に堅調な1年となりました。日経平均株価は年間でプラス28%、ダウ平均株価はプラス14%となり、特に日本株は2013年来の高パフォーマンスでした。なお、東証グロース市場250指数（旧マザーズ指数）はマイナス3%、ナスダック総合指数はプラス43%でした。

2023年は日本を除く主要国で金融引き締めが進みました。3月には欧米で金融不安が巻き起こり、また地政学リスクも継続する一方で、米国では旺盛な消費によって堅調な経済成長が示され、利上げ局面の終了とともに景気のソフトランディング期待の高まりが株価を押し上げました。また日本株も3月末に東京証券取引所が資本効率向上を要請してからの4-6月に大きく上昇しました。本アンケートでも触れたウォーレン・バフェット氏の日本株投資が話題になったのもこの頃です。

2024年は選挙イヤーとも言われ各国で選挙が行われる中で、リスク資産を取り巻くマクロ経済環境が一段と重要な年となるでしょう。

1. グローバル調査結果 調査対象：日本、米国、中国（香港）の個人投資家

世界の株式市場見通し DI^(注) は三地域の個人投資家とも大幅に上昇

[参照：別紙レポート 2 ページ グラフ 1]

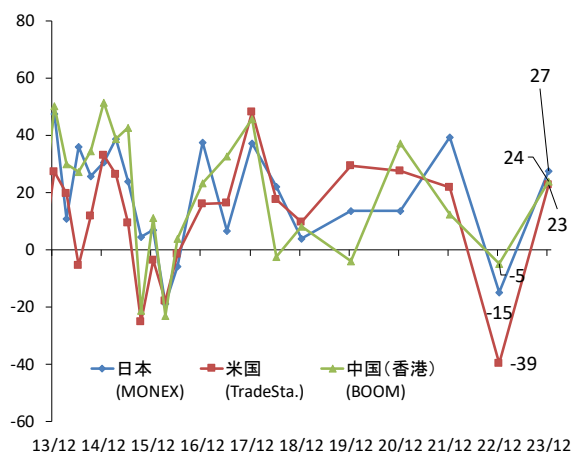
各地域の個人投資家に今後3か月程度の世界の株式市場に対する見通しをたずねたところ、日本、米国、中国（香港）の個人投資家いずれも前回調査（2022年12月実施）からDIが大きく上昇しました。

【世界の株式市場見通し DI】

日本： (2022年12月) -15 → (2023年12月) 27 (前回比 +42ポイント)
 米国： (2022年12月) -39 → (2023年12月) 23 (前回比 +62ポイント)
 中国(香港)： (2022年12月) -5 → (2023年12月) 24 (前回比 +29ポイント)

グラフ1: 個人投資家の世界の株式市場に対する見通し(三地域のDI推移)

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

(注) DI (diffusion index) : 「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

三地域の個人投資家すべてで米国への期待が最も高い割合に

[参照：別紙レポート 3 ページ グラフ 2-1~2-4]

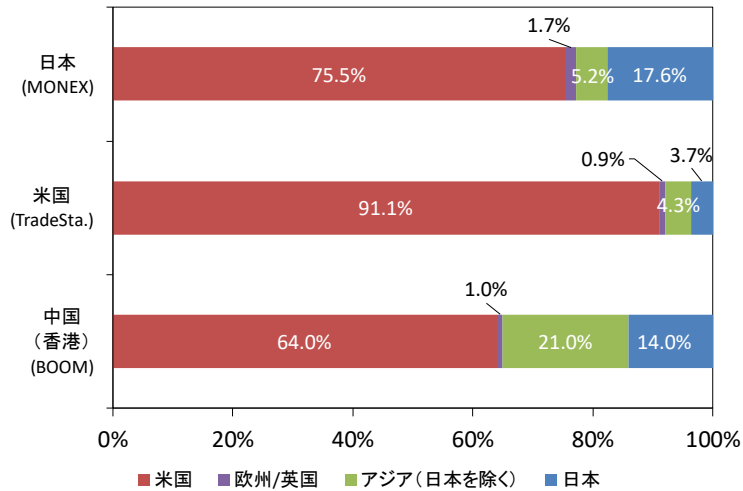
今後3か月で株価の上昇が最も期待できる地域については、日本、米国、中国(香港)の個人投資家すべてで「米国」と回答した割合が最も高くなりました。

【今後3か月のマーケットへの期待度】

日本	米国： 75.5%、欧州/英国： 1.7%、アジア(日本を除く)： 5.2%、日本： 17.6%
米国	米国： 91.1%、欧州/英国： 0.9%、アジア(日本を除く)： 4.3%、日本： 3.7%
中国(香港)	米国： 64.0%、欧州/英国： 1.0%、アジア(日本を除く)： 21.0%、日本： 14.0%

グラフ2-1: 今後3か月で、どの地域のマーケットが上昇するか(各地域の回答内訳)

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

2024年の米国マーケット予想、日本と米国は36,000ドル以上40,000ドル未満が最も高い割合に

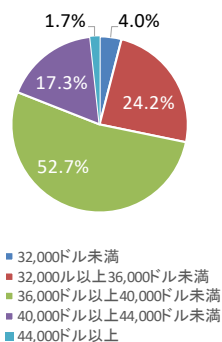
[参照: 別紙レポート 6 ページ グラフ 3-1~3-6]

三地域の個人投資家に2024年のダウ平均株価の高値予想、安値予想をたずねたところ、2024年の高値予想について日本、米国の投資家は、「36,000ドル以上40,000ドル未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。一方で中国(香港)の投資家は「32,000ドル以上36,000ドル未満」と回答した割合が最も高くなっています。安値予想については日本、中国(香港)の投資家が「27,000ドル以上31,000ドル未満」と回答した割合が最も高い一方、米国の投資家は「31,000ドル以上35,000ドル未満」と回答した割合が最も高くなっています。

(【参考】2024年1月12日のダウ平均株価終値: 37,592.98ドル)

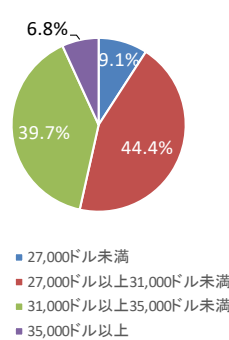
【日本の個人投資家】

グラフ3-1: 2024年ダウ平均株価高値予想



(出所)マネックス証券作成

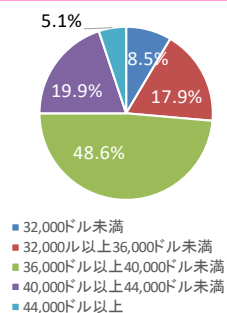
グラフ3-2: 2024年ダウ平均株価安値予想



(出所)マネックス証券作成

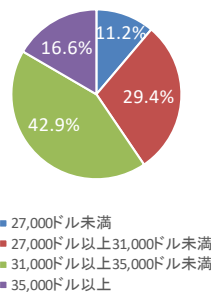
【米国の個人投資家】

グラフ3-3: 2024年ダウ平均株価高値予想



(出所)マネックス証券作成

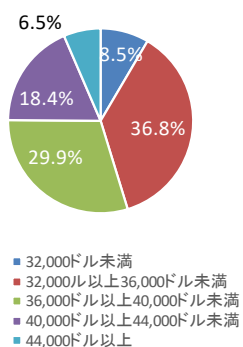
グラフ3-4: 2024年ダウ平均株価安値予想



(出所)マネックス証券作成

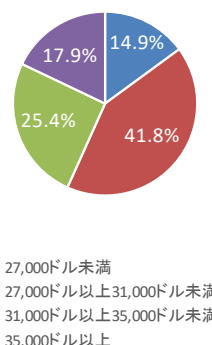
【中国（香港）の個人投資家】

グラフ3-5: 2024年ダウ平均株価高値予想



(出所)マネックス証券作成

グラフ3-6: 2024年ダウ平均株価安値予想



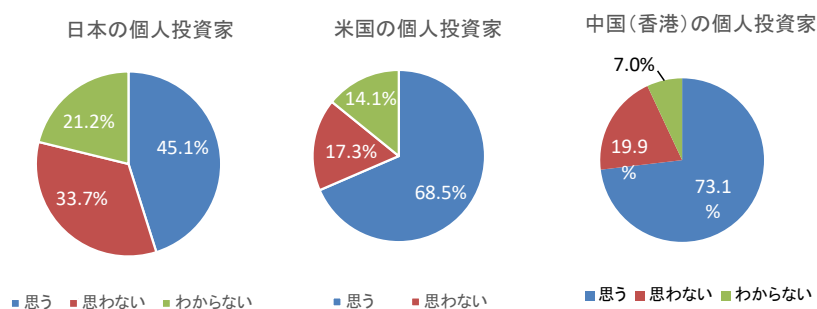
(出所)マネックス証券作成

リスク回避の必要性に日本の投資家は楽観的

[参照：別紙レポート 7ページ グラフ 4-1]

三地域の個人投資家に現在のマーケットの状況はリスク回避をある程度行う必要があると思うかをたずねたところ、米国、中国（香港）の個人投資家はリスク回避の必要性が「ある」との見方が7割程度ある一方、日本の個人投資家は5割を下回っています。

グラフ4-1: リスク回避の必要性がありますか



(出所)マネックス証券作成

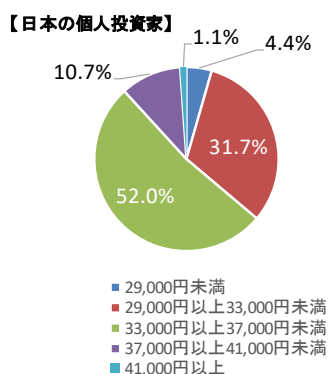
2. 日本限定の調査結果（四半期に1回） 調査対象：日本の個人投資家

日経平均株価の高値予想は 33,000 円以上 37,000 円未満が 52.0%と最多

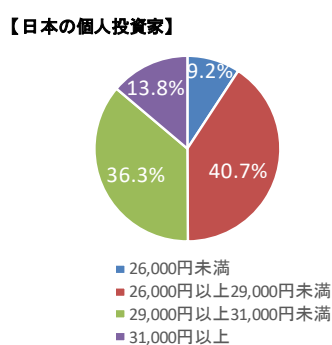
[参照：別紙レポート 12 ページ グラフ 10-1～10-2]

（【参考】 2024 年 1 月 12 日の日経平均株価終値：35,577.11 円）

グラフ10-1: 2024年日経平均株価高値予想



グラフ10-2: 2024年日経平均株価安値予想



(出所)マネックス証券作成

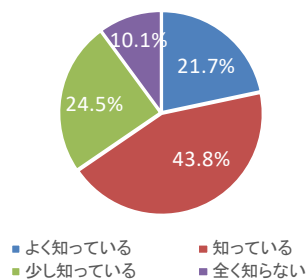
ウォーレン・バフェット氏の日本株投資のニュースは高い認知度

[参照：別紙レポート 13 ページ グラフ 11-1～11-3]

ウォーレン・バフェット氏の日本株投資についての関心度を調査したところ、全く知らない割合が 10%に留まっており、認知度は高いようです。また 6 割近くがニュースによって投資意欲が高まっており、アナウンスメント効果は相応に大きかったと思われます。

グラフ11-1: バフェット氏の日本株投資のニュースをご存じでしたか

【日本の個人投資家】



(出所)マネックス証券作成

・ 調査結果の詳細は添付の別紙レポートを参照ください。

(グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。)

以 上

第31回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」の実施

日本、米国および中国（香港）における調査の実施概要は次のとおりです。

	日本	米国	中国（香港）
調査期間	2023年12月14日～ 12月18日	2023年12月13日～ 12月21日	2023年12月14日～ 12月18日
回答数	1,172件	940件	201件

「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」について

マネックス証券は2009年10月より、個人投資家を対象として相場環境についての意識調査のアンケートを実施し「MONEX 個人投資家サーベイ」として提供してきました。マネックスグループにおいて、日本に加え米国および中国（香港）にも証券事業の拠点ができたことを契機に、当該個人投資家サーベイの調査対象を米国および中国（香港）にも広げ、2011年6月よりマネックス証券、TradeStation Securities, Inc.およびMonex Boom Securities (H.K.) Limitedの3社共同で「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」を実施し、日本、米国および中国（香港）の個人投資家の相場環境についての意識を定点観測しております。

【マネックス証券でのお取引に関する重要事項】

マネックス証券が扱う商品等には、価格変動等により元本損失・元本超過損が生じるおそれがあります。

投資にあたっては、契約締結前交付書面、目論見書の内容を十分にお読みください。

【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会

【お問合せ先】

マネックス証券株式会社

経営企画部広報室 津川、福島 電話 03-4323-3981